ごみ処理施設 の整備方針

これまでの 経緯

事業計画

環境影響 評価項目の 選定

項目選定の 考え方

選定項目

調査、予測 及び評価手法

今後の手続

条例環境影響評価方法書について

4. 環境影響評価項目の選定

4-1 項目選定の考え方

ごみ処理施設 の整備方針

これまでの 経緯

事業計画

環境影響 評価項目の 選定

> 項目選定の 考え方

> > 選定項目

調査、予測 及び評価手法

今後の手続

環境影響要因

工事中



- ・ 建設機械の稼動
- 工事用車両の走行
- 建設工事等の影響

供用時

【施設の存在】

- ・緑の回復育成
- 建築物の存在

【施設の供用】

- ・施設の稼動
- 排ガスの排出
- ・ 廃棄物の貯留
- 施設関連車両の走行



4-2 選定項目

ごみ処理施設 の整備方針

これまでの 経緯

事業計画

環境影響 評価項目の 選定

> 項目選定の 考え方

選定項目

調査、予測 及び評価手法

今後の手続

				工事中	1	世界時 供用時 施設の存在 施設の供用						
環境影響評価	西項目	環境影響要因	環境影響要因 建設機械の移動 建設機械の移動 を				排ガスの排出	廃棄物の貯留	施設関連車両の走行			
大 気		大気質	•	•					•			
悪臭		悪臭							•	•		
±	地盤	変状			•							
		土壌汚染			•			•		_		
% ⊒.		緑の質				•						
緑		緑の量				•						
騒音 •		騒音	•	•				•				
振動•		振動	•	•				•				
低周波音		低周波音						•				

4-2 選定項目

ごみ処理施設 の整備方針

これまでの 経緯

事業計画

環境影響 評価項目の 選定

> 項目選定の 考え方

> > 選定項目

調査、予測 及び評価手法

今後の手続

			工事中		供用時						
		┻ ┸╋╙		施設の存在		施設の供用					
環境影響評価	西項目	環境影響要因	建設機械の稼動	工事用車両の走行	建設工事等の影響	緑の回復育成	建築物の存在	施設の稼動	排ガスの排出	廃棄物の貯留	施設関連車両の走行
廃棄物等		一般廃棄物						•			
		産業廃棄物			•						
		建設発生土			•						
	景観	(景観、圧迫感)					•				
建造物の 影響		日照阻害					•				
W E	テ	・レビ受信障害					•				
地域社会	地域 交通	交通混雑、 交通安全		•							
	歴	史的文化的遺産			•						
安全		火災、爆発、 学物質の漏洩等						•			
温室効果ガス											•

ごみ処理施設 の整備方針

これまでの 経緯

事業計画

環境影響 評価項目の 選定

調査、予測 及び評価手法

調査について

予測・評価 について

今後の手続

条例環境影響評価方法書について 5. 調査、予測及び評価手法

ごみ処理施設 の整備方針

これまでの 経緯

事業計画

環境影響 評価項目の 選定

調査、予測 及び評価手法

調査について

予測・評価 について

今後の手続

【現地調査項目】

悪臭

緑の量・ 緑の質

騒音·振動 •低周波音 大気質・ 気象

景観

地域交通

テレビ受信 障害

ごみ処理施設 の整備方針

これまでの 経緯

事業計画

環境影響 評価項目の 選定

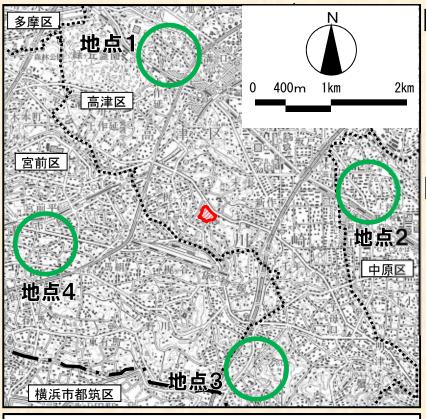
調査、予測 及び評価手法

調査について

予測・評価 について

今後の手続

一般環境大気質調査



【計画地】7日間×4季

- ·二酸化硫黄 · 浮遊粒子状物質
- 二酸化窒素及び窒素酸化物
- 塩化水素ダイオキシン類
- 水銀PM2. 5 (微小粒子状物質)

【周辺4地点】7日間×4季

- 二酸化硫黄浮遊粒子状物質
- 二酸化窒素及び窒素酸化物
- 塩化水素ダイオキシン類
- 水銀



凡例



計画地



大気質調査地点

— ∙ 市境

------ 区境

ごみ処理施設 の整備方針

これまでの 経緯

事業計画

環境影響 評価項目の 選定

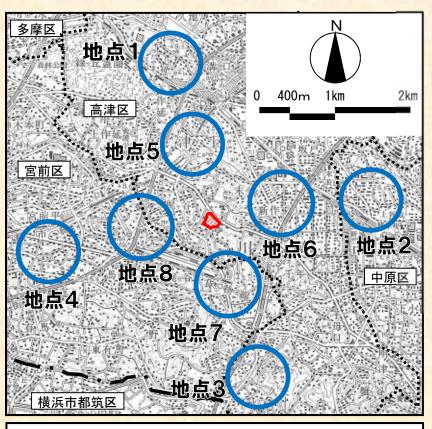
調査、予測 及び評価手法

調査について

予測・評価 について

今後の手続

地上気象調査



【計画地】1年間連続

- 風向

- 風速
- 気温
- 湿度
- 日射量
- 放射収支量

【周辺8地点】1か月間×4季

- 風向

• 風速



ごみ処理施設 の整備方針

これまでの 経緯

事業計画

環境影響 評価項目の 選定

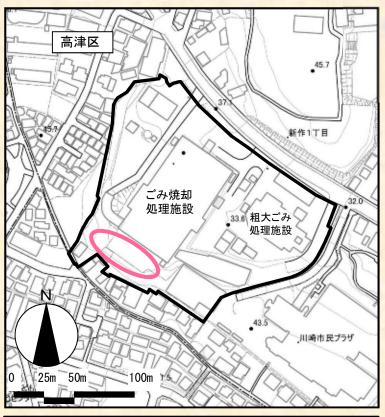
調査、予測 及び評価手法

調査について

予測・評価 について

今後の手続

上層気象調査



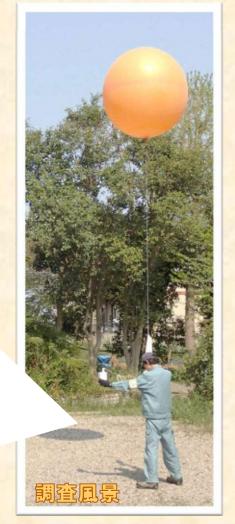
凡例

計画地

上層気象調査地点

【計画地】7日間(1日8回)×4季・風向・風速・気温





これまでの 経緯

事業計画

環境影響 評価項目の 選定

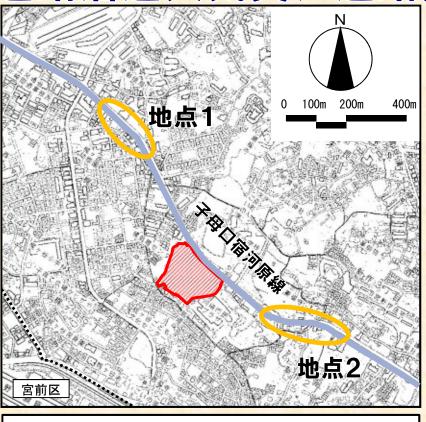
調査、予測 及び評価手法

調査について

予測 · 評価 について

今後の手続

道路交通騒音・振動調査 道路沿道大気質、



例

計画地

大気質・地上気象、騒音・振動調査地点

子母口宿河原線

区境

道路沿道大気質調査 【2地点】7日間×4季

- 二酸化窒素及び窒素酸化物
- 浮遊粒子状物質

地上気象調査 【2地点】7日間×4季

風向

風速

道路交通騒音・振動調査

【2地点】16時間

- 道路交通騒音
- 道路交通振動
- 道路状況

ごみ処理施設 の整備方針

これまでの 経緯

事業計画

環境影響 評価項目の 選定

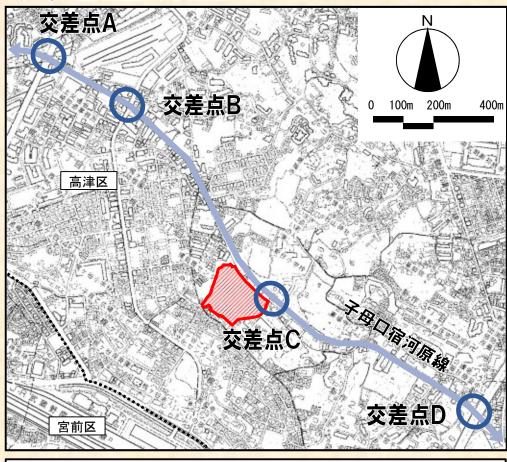
調査、予測 及び評価手法

調査について

予測・評価 について

今後の手続

交通量調査



【4地点】24時間

- ・自動車交通量の状況 等
- 交通安全施設の設置状況



が後の手続

凡例



計画地



交通量調査地点 子母口宿河原線

.....

区境

ごみ処理施設 の整備方針

これまでの 経緯

事業計画

環境影響 評価項目の 選定

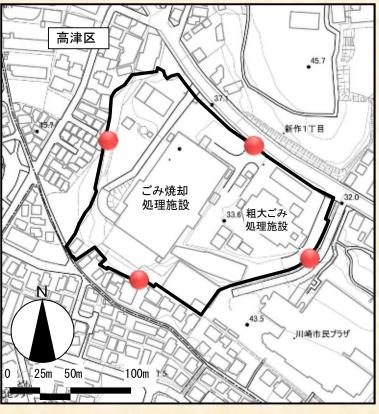
調査、予測 及び評価手法

調査について

予測・評価 について

今後の手続

一般環境騒音・振動・低周波音調査



凡例

計画地

◉ 環境騒音∙振動∙低周波音調査地点

【4地点】24時間

- 環境騒音
- 環境振動
- 低周波音



ごみ処理施設 の整備方針

これまでの 経緯

事業計画

環境影響 評価項目の 選定

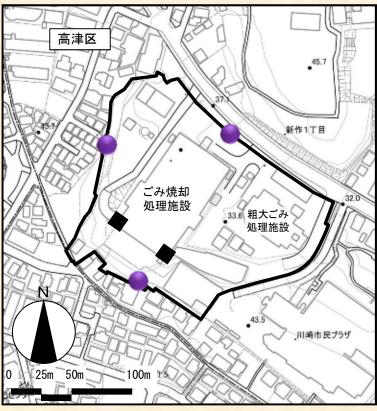
調査、予測 及び評価手法

調査について

予測 · 評価 について

今後の手続

悪臭調査



凡 例

計画地

- 悪臭調査地点(調査日の風向きに 応じて風上、風下を含む地点とする)
- 臭気発生源の位置 (ごみ搬出入車両の出入口)

【3地点】4回(夏季、全休炉時等)

- 特定悪臭物質(22物質)
- 臭気指数



ごみ処理施設 の整備方針

これまでの 経緯

事業計画

環境影響 評価項目の 選定

調査、予測 及び評価手法

調査について

予測・評価 について

今後の手続

地域住民と行政による検討協議会や環境配慮計画書に 係る御意見等を踏まえ、環境影響評価項目以外にも、 現況を把握するための調査を実施。

> 微小粒子状物質 (PM2.5)

> > 水 銀

放射性物質

地下水位等

ごみ処理施設 の整備方針

これまでの 経緯

事業計画

環境影響 評価項目の 選定

調査、予測 及び評価手法

調査について

予測・評価 について

今後の手続

【調査スケジュール】



調査区分	平成25年度				平成26年度										
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
大気質 ・気象															
地上気象 (1年間連続)															
悪臭															
緑の量・ 緑の質															
騒音・振動 ・低周波音															
景観															
交通量															

ごみ処理施設 の整備方針

これまでの 経緯

事業計画

環境影響 評価項目の 選定

調査、予測 及び評価手法

調査について

予測・評価 について

今後の手続

現地調査見学会を計画しています

現地調査の様子を皆様に御覧いただき、環境影響調査や本事業に対しての御理解を深めていただくため、大気質や上層気象の現地調査見学会の開催を計画しています。



【調査項目】 大気質調査、上層気象調査

【日程】

秋季の大気質調査実施時 (予定:10月中旬~下旬)

【場所】 計画地(橘処理センター)



ごみ処理施設 の整備方針

これまでの 経緯

事業計画

環境影響 評価項目の 選定

調査、予測 及び評価手法

調査について

予測・評価 について

今後の手続

予測の基本的な手法



- A) 計算やシミュレーションなどによる方法
- B) イメージ写真などによる視覚的な方法

C) 調査結果・事業計画・類似事例などに 基づいた方法

5-2 予測・評価について

ごみ処理施設 の整備方針

これまでの 経緯

事業計画

環境影響 評価項目の 選定

調査、予測 及び評価手法

調査について

予測・評価 について

今後の手続

<u>評価手法</u>

現況との比較

現況と比較して、どのように変化するか。

基準・目標との 整合 環境基準・公害防止自主基準値などの、環境保全のための目標との整合が図られているか。

回避•低減

対象事業に係る環境影響が、できる限り回避又は低減されているか。

5-2 予測・評価について

ごみ処理施設 の整備方針

これまでの 経緯

事業計画

環境影響 評価項目の 選定

調査、予測 及び評価手法

調査について

予測・評価 について

今後の手続

● 建設機械の稼動による影響 ● 工事用車両の走行による影響 工事中 もっとも影響が大きくなる時期の、下記の物質の 濃度を予測・評価。 二酸化窒素浮遊粒子状物質 ● 排ガスの排出に伴う影響 大気質 煙突からの排ガスによる、下記の物質の濃度を予 測·評価。 ・二酸化硫黄 二酸化窒素 • 浮遊粒子状物質 • 塩化水素 • 水銀 ダイオキシン類 供用時 ※一般的に用いられる大気拡散式のほか、 周辺の地形の起伏を考慮したシミュレーションを 行います。

ごみ処理施設 の整備方針

これまでの 経緯

事業計画

環境影響 評価項目の 選定

調査、予測 及び評価手法

今後の手続

今後の流れ

方法書の縦覧について

意見書の 提出について

条例環境影響評価方法書について

6. 今後の手続

6-1 方法書から準備書作成まで

ごみ処理施設 の整備方針

これまでの 経緯

事業計画

環境影響 評価項目の 選定

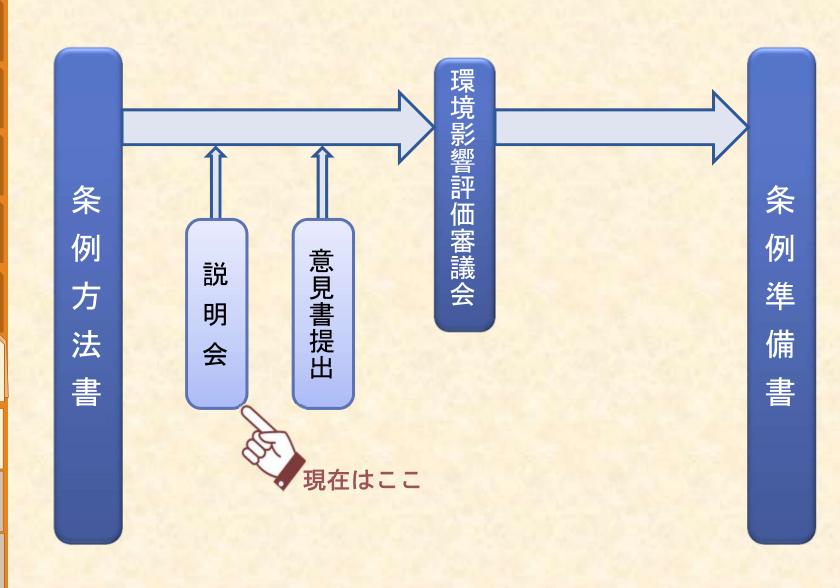
調査、予測 及び評価手法

今後の手続

今後の流れ

方法書の縦覧について

意見書の提出について



6-2 方法書の縦覧について

ごみ処理施設 の整備方針

これまでの 経緯

事業計画

環境影響 評価項目の 選定

調査、予測 及び評価手法

今後の手続

今後の流れ

方法書の縦覧について

意見書の 提出について

〇方法書の縦覧方法

期 間: 平成26年4月14日(月)~5月28日(水)

場 所: -川崎市役所第3庁舎(環境局環境評価室)

- •高津区役所
- •高津区役所橘出張所
- •宮前区役所
- 宮前区役所向丘出張所
- •中原区役所
- 多摩区役所
- •多摩区役所生田出張所

〇インターネットによる電子縦覧

URL

http://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/29-2-1-2-0-0-0-0-0-0.html

6-3 意見書の提出について

ごみ処理施設 の整備方針

これまでの 経緯

事業計画

環境影響 評価項目の 選定

調査、予測 及び評価手法

今後の手続

今後の流れ

方法書の縦覧について

意見書の 提出について ○意見書の提出

提出期限:平成26年5月28日(水)

提出先:〒210-8577

川崎市川崎区宮本町1番地

川崎市 環境局 環境評価室

電話:044-200-2156

提出方法:持参、郵送

※郵送の場合は、5月28日消印有効





■建替えに関する問合わせ先

川崎市 環境局 施設部 施設建設課

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地

電 話:044-200-2554

Email: 30siseke@city.kawasaki.jp

■「橘処理センター整備事業」ホームページ

URL: http://www.city.kawasaki.jp/shisetsu/category/43-3-9-0-0-0-0-0-0.html